

創立60周年を迎えて

医療法人三幸会 理事長
城守 国斗



当法人は、本年11月17日にて創立60周年を迎えることとなりました。この60周年を無事に迎えることが出来たのも、ひとえに皆様方のご支援の賜物であることより感謝申し上げます。

この歳月というのは、精神医療発祥の地と言われている岩倉に、昭和29年11月17日、北山病院が産声を上げて以来、心のもった医療を提供すべく先人達が弛まぬ努力を重ね続けてきた60年であったとも言えます。法人としては、第二北山病院、介護老人保健施設紫雲苑、介護療養病棟いずみ棟、グループホーム等々、精神科領域から認知症を主とした介護領域へと診療領域を広げて参りましたが、この間の治療法・薬剤の進歩も目覚ましいものがあり、病院の役割も大きく変化してきました。一方、国の精神科領域における政策も目まぐるしく変化し、平均在院日数という指標で治療期間を縛るといった流れとなってきました。果たしてこの考え方が精神科医療に相応しいのか？という思いはありますが、患者さんの早期退院、地域移行は目指すべきことであり、今後も良質な入院医療、入所環境を提供し、地域での生活支援をすべく努力を重ね続けていきたいと思っております。

これからもご支援ご協力の程、何卒よろしくお願いたします。



法人ロゴマーク完成



法人創立60周年の記念事業の一貫として、医療法人三幸会の「ロゴマーク」を広く職員の皆様から募集致しました。全体で56件の応募があり、どれもみな心のこもった力強い作品でありました。この中から選定作業に入り、11月17日の創立記念日の席上にて発表いたしました。年末の忘年会の席上にて12月12日に最優秀賞（法人ロゴマーク）1名、優秀賞2名、努力賞6名の表彰いたしました。

最優秀賞受賞

第二北山病院5病棟 准看護師 北村 友志



最優秀賞

Concept
北村友志のイメージ

三幸会の頭文字のSをモチーフに考えました。三つのラインが、それぞれの中心から外側に向かって広がっていく様子を表現し、末広がりに歩んでいけるようにという願いを込めました。また、緑で病院の優しい・温かさをイメージしました。



紫雲苑 創立20周年によせて

介護老人保健施設 紫雲苑
施設長 藤村 和正



平成6年2月にオープンした三幸会老人保健施設「紫雲苑」は、創立20周年を迎える事となりました。認知症専門棟を有する老人保健施設としては京都府下では初めての施設でした。

竣工披露の平成6年1月29日は、降りしきる雪の中、知事・市長をはじめ大勢の方々がお忙しい中、また足元の大変な中、ご来臨下さいました。

施設ご見学を終え、数々の激励のお言葉などを戴き、職員の一員として大変感激したのを思い出します。

平成12年に介護保険法が施行されて、介護老人保健施設と冠が変わり、また時の流れでユニットケアがもてはやされていますが、精神面において、どこかで少しでも近づけるような看護・介護に努めています。

創立60周年を輝かしく迎えた三幸会の一施設として、今まで以上にご利用者・ご家族の方々に、より一層ご満足いただけるよう職員一同心を新たに、きめ細やかな心くばりと優しい態度でご高齢者の生活の支援・介護を行います。

職員の皆様は、なお一層の勤勉・努力・責任感を忘れる事なく頑張りましょう！



平成26年度 京都府保健医療功労者
知事表彰受賞

日時 平成26年11月13日(木) 午後3時30分
会場 京都府公館 府立ホール「アルティ」

長年、精神医療に従事するとともに、京都精神病院協会等の役員として、府内の精神保健医療体制の充実と向上への貢献に対し表彰を受けました。

第二北山病院 院長 福居 義久

